

# 生命・医療倫理学

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 辻澤 利行, 中道 敦子						

## 授業の概要

研究を遂行するにあたって必要となるヒトおよび実験動物等に対する倫理の実際と理論について講義する。保健医療福祉に関する倫理にかかる諸概念を講義する。また、歯科衛生士の職業倫理について講義する。

## 学生の到達目標

1. 生命科学研究における倫理について説明できる。
2. 臨床研究における倫理について説明できる。
3. 医療人として涵養すべき倫理について説明できる。
4. 歯科衛生士の倫理問題について説明できる。
5. 法令で規定する臨床試験の実施基準を理解する。

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
演習課題	40%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療人が涵養すべき医の倫理に関する基本的知識と態度 医療人が涵養すべき医の倫理に関する基本的知識と態度について、国の指針等を踏まえながら学習する。 関する基本的知識と態度	講義 (Teams, Moodle)		事前：医療倫理に関する国の指針 事後：事後レポートの提出	
2	人間を対象とした研究で、疫学研究および臨床研究（臨床試験を含む）に係る法令・指針 医療法や医薬品医療機器等法に加え、人間を対象とした疫学研究および臨床研究については、国から各種指針が示されており、それらを踏まえ学習する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：疫学研究および臨床研究の国の指針 事後：事後レポートの提出	

# 生命・医療倫理学

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 辻澤 利行, 中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	動物を用いた実験研究を遂行するにあたり関連する法律・指針 動物を用いた実験研究を遂行するにあたり、動物愛護に関連する法律・指針等とこれらの精神に基づく3Rの考え方について学修する。さらに、動物実験における感染症対策や国外における近年の傾向についても学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)		事前：動物実験研究の国の指針 事後：事後レポートの提出	
4	遺伝子実験を遂行するにあたり関連する法律・指針 遺伝子実験にかかる法令・指針について学修する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：遺伝子実験研究の国の指針 事後：事後レポートの提出	
5	歯科衛生士が臨床や保健活動で会得しておくべき倫理観について、その理論と実際 歯科衛生士が歯科医療の臨床および歯科保健活動で会得しておくべき倫理観について、その理論と実際について講義する。また歯科衛生士の倫理規範、守秘義務、法的義務についても学習する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：歯科衛生士の倫理綱領 事後：事後レポートの提出	
6	保健・福祉に係る倫理についての理論と社会的通念の比較を通して、歯科衛生士としてのあるべき姿 保健・福祉に係る倫理についての理論に基づき、医療人として求められる歯科衛生士としてのあるべき姿を学習する。	遠隔授業 (Teams, Moodle)		事前：医療倫理の4分割、ケアの倫理 事後：事後レポートの提出	
7	倫理申請の実際1（申請書の作成） ヒトおよび動物を用いた研究を行うのに必要な倫理申請の実際について、九州歯科大学倫理審査の様式を用いて作成する。	演習 (Teams, Moodle)		事前：九州歯科大学の倫理審査申請の様式 事後：倫理審査申請書の作成	

# 生命・医療倫理学

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 辻澤 利行, 中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	倫理申請の実際 2 (倫理的研究方法) ヒトおよび動物を用いた研究を行うのに必要な倫理的方法について実例を示しながら理解する。	演習 (Teams, Moodle)		事前、事後：倫理審査申請書の提出	

# 口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 藤井 航, 中道 敦子						

## 授業の概要

口腔保健学に関する最新の知見についてオムニバス形式で講義する。

## 学生の到達目標

1. 歯科診療における感染予防対策の実際や最新の知見について説明できる。
2. 診療情報の管理や提供、医療広告に関する国の指針等について説明できる。
3. 口腔健康学に関わる理論とアプローチについて説明できる。
4. 免疫学的観点を踏まえた歯科的疾患と全身的健康状態の関わりについて説明できる。
5. ICFからみた健康の総体についての観念について説明できる。
6. 歯周疾患と全身疾患との関連性及び全身疾患を有する患者の歯周治療について説明できる。
7. 高齢者における口腔保健の最新の知見について説明できる。
8. 人生の最終段階における口腔保健の最新の知見について説明できる。

## 参考書

タイトル	著者	出版社
医療六法		中央法規出版
ザ・ペリオドントロジー	和泉雄一 他	永末書店
歯周病の臨床	長谷川紘司 他	医歯薬出版
高齢者への戦略的歯科治療	北村知昭 他編	医歯薬出版
口腔の緩和医療・緩和ケア	太田洋二郎 他編	永末書店
歯科のための内科学	西田次郎 他	南江堂

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	90%
口頭試問	10%

## その他

学生相談：随時

# 口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 藤井 航, 中道 敦子						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	診療情報の管理や提供 患者情報や医療機関情報の種類、 医療機能情報提供制度、医療に関 する広告、診療情報の提供に関す る指針等について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)		事前：医療法 事後：事後レポート の提出	
2	診療情報の管理や提供 各種診療記録（診療録、診断書、 処方せん、歯科衛生士業務記録等 ）の法令上の位置づけ及び記載の あり方、医療情報システムの安全 管理等について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)		事前：医療法 事後：事後レポート の提出	
3	高齢者医学その1 老化、高齢者の病気の特徴につ いて学修する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：高齢者の病気 の特徴 事後：事後レポート の提出	
4	高齢者医学その2 高齢者の薬物療法、超高齢社会に おける医学的・社会的問題につ いて学修する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：高齢者の医学 的・社会的問題 事後：事後レポート の提出	
5	歯科診療における感染予防対策の 実際や最近の知見 一般歯科診療における感染の危険 性とその対策を学習する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：歯科診療にお ける感染予防対策 事後：事後レポート の提出	
6	歯科診療における感染予防対策の 実際や最近の知見 特にHIVとHBV及びHCVに対する感 染とその対策を学習する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：歯科診療にお ける感染予防対策 事後：事後レポート の提出	
7	高齢者における口腔保健 高齢者における口腔保健の実際と 最近の知見について学習する	講義 (Teams, Moodle)		事前：高齢者にお ける口腔保健 事後：事後レポート の提出	

# 口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 藤井 航, 中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	人生の最終段階における口腔保健 人生の最終段階における口腔保健 の実際と最近の知見について学習 する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：終末期の口腔 保健 事後：事後レポート の提出	
9	口腔健康学に関わる理論とアプロ ーチ 健康信念モデル、変化のステージ モデルなどの理論を用いて、口腔 保健教育の実際について学習する 。	講義 (Teams, Moodle)		事前：健康信念モデ ル、変化のステージ モデル 事後：事後レポート の提出	
10	口腔健康学に関わる理論とアプロ ーチ 2 口腔保健分野における各理論の 実際の活用について学習する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：健康信念モデ ル、変化のステージ モデル 事後：事後レポート の提出	
11	免疫学的観点を踏まえた歯科的疾 患と全身的健康状態の関わり 歯科的疾患と全身的健康状態の関 わりについて、自然免疫の観点か ら学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)		事前：自然免疫 事後：事後レポート の提出	
12	ソーシャルキャピタルと口腔保健 地域におけるソーシャルキャピタ ルが口腔保健に及ぼす影響につ いて学習する。また、健康格差の 問題についても触れる。	講義 (Teams, Moodle)		事前：ソーシャルキ ャピタル 事後：事後レポート の提出	
13	ICFからみた健康の総体 ICFからみた健康の総体につ いての観念を学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)		事前：ICF 事後：事後レポート の提出	
14	歯周疾患と全身疾患との関連性及 び全身疾患を有する患者の歯周治 療について ( 1 ) 歯周疾患と全身疾患との関連性 について学習する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：歯周疾患と全 身疾患との関連 事後：事後レポート の提出	

# 口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 藤井 航, 中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	歯周疾患と全身疾患との関連性及び全身疾患を有する患者の歯周治療について(2) 歯周疾患関連の全身疾患での歯周治療法を学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)		事前：歯周疾患と全身疾患との関連 事後：事後レポートの提出	

# 生命科学論文作成概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

## 授業の概要

学术论文における表題、著者欄、抄録、序論、対象と材料と方法、結果と観察、考察、謝辞、引用文献の書き方および図表の作成方法について理解する。あわせて文献探索や原稿校正の方法、著者として必要な倫理について学ぶ。

## 学生の到達目標

1. 著者としての倫理的判断ができる。
2. 論文の種類と構成を説明できる。
3. 論文として相応しい文体の使用、図表の作成、文献の引用ができる。
4. 論文に用いられる略語、記号、用語が説明できる。
5. 編集者や校閲者の指摘を理解し校正することができる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
講義ごとに資料を配布する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	著者としての倫理 研究者が社会において守るべき（とくに論文として発表する際の）倫理について学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学修】 Authorship 【事後学修】事後レポートの提出	



# 生命科学論文作成概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	論文の種類 研究論文、総説論文、症例報告、あるいは口頭発表やポスターを基盤にする抄録などについて学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】原著 【事後学修】事後レポートの提出	
3	論文の構成 表題、著者、抄録、序論、材料と方法、結果、考察、謝辞および引用文献などの構成について学ぶ。	講義	辻澤 利行	Structure of articles Learn about title, authorship, abstract, introduction, methods and material, results, discussion, acknowledgement, and references.	
4	論文の文体 学術論文における文体や構造について学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】英文リテラシー 【事後学修】事後レポートの提出	
5	図表の作成 図や表の構成、文字と説明書き、縮尺、単位などについて学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】図と表の使い方 【事後学修】事後レポートの提出	
6	参考文献の引用 本文で引用すべき参考文献の選択、および文献リストの作成などを学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】投稿規定 【事後学修】事後レポートの提出	
7	論文に用いる略語、記号、用語 学術論文に用いられる略語、記号、および専門用語について学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事後学修】事後レポートの提出	
8	論文の校閲と校正 自他者の論文を校閲および校正するために必要な知識と手技を学ぶ	講義	辻澤 利行	【事後学修】事後レポートの提出	

# 口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

## 授業の概要

地域におけるヘルスプロモーション（HP）や福祉の推進（WP）にかかる活動や、歯科における医療・保健・福祉連携の実際に係る理論と方法の詳細について講義を行う。

## 学生の到達目標

- 地域の保健・福祉の実際を説明できる。
- 歯科における医療・保健・福祉の連携の実際を説明できる。
- 歯科における医療・保健・福祉の連携を推進するための方法論を習得する。
- 地域で口腔HP、WPを実践するための知識を習得する。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
地方分権時代の健康政策実践書 みんなで楽しくできるヘルスプロモーション	石井 敏弘、 中村 譲治、 その他	ライフサイ エンスセン ター

## 参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
不平等が健康を損なう	イチロー カ ワチ, ブルー ス・P. ケネ ディ	日本評論社
ソーシャル・キャピタルと健康	イチロー カ ワチ	日本評論社

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

## その他

学生相談：随時

# 口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	ヘルスプロモーションの理論 PRECEDE-PROCEED modelなどHPで 用いられる一般的な手法および近 年用いられている新しい手法につ いて学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前： PRECEDE-PROCEED model 事後：事後レポート の提出	
2	口腔を通じた福祉のあり方につ いて 介護制度を含む高齢者福祉や障害 者福祉における歯科の役割とある べき姿について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：高齢者福祉、 障害者福祉 事後：事後レポート の提出	
3	オーラルヘルスプロモーションの 実際理論 口腔保健におけるHPの理論につ いて学ぶ。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：オーラルヘル スプロモーション 事後：事後レポート の提出	
4	オーラルヘルスプロモーションの 実際(1)～事例の収集～ 口腔保健におけるHPの実際につ いて、市町村事業の実例を示しな がら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
5	オーラルヘルスプロモーションの 実際(2)～事例の収集～ 前回 に引き続き、口腔保健におけるHP の実際について、市町村事業の実 例を示しながら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
6	地域における口腔HP、WP事例の収 集と課題の抽出(1)～事例の収 集～ 地域歯科保健等に関する報告書な どから地域における口腔HP、WPの 事例を選出する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
7	地域における口腔HP、WP事例の収 集と課題の抽出(2)～事例から 学ぶ課題と解決方法～ 前回選出した事例について地域の 課題とその解決方法について考察 する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	

# 口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1 年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（3）～実例から学ぶ課題と解決方法～文献検索を行い、国内外の事例を検討する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
9	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（4）～実例から学ぶ課題と解決方法～前回に引き続き文献検索を行い、国内外の事例の実際を検討する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
10	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（1）～課題の抽出～福岡県内市町村の中からモデル地区を選出してその課題を抽出する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
11	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（2）～課題の解決方法の企画立案～前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
12	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（3）～課題の解決方法の企画立案～前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
13	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（4）～課題の解決方法の企画立案～前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	

# 口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	地域のHP、WPに対する働きかけ地域住民に働きかけを行うために必要な方法論について事例を交えながら学習する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：地域のHP、WP 事後：事後レポート の提出	
15	まとめ これまで行ってきた内容をまとめ、プレゼンテーションを行う。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：プレゼンテー ションの準備 事後：プレゼンテー ションの提出	

# 細胞分子生物学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

## 授業の概要

【引地】(5回、概論5回) 口腔に関連した骨代謝学の基礎と応用について、最近の知見・臨床病態を加え、講義する。【秋房】(5回、概論5回) 免疫機能について概説し、研究の方向性について講義する。

## 学生の到達目標

- 細胞分子生物学(細胞の構造および各種細胞内小器官、ゲノム、タンパク質合成機序、細胞内情報伝達系)の概要を説明できる。
- 細胞生物学的実験の基礎となる知識を習得する。
- 硬組織研究に必要な基礎と応用にかかる知識を習得する。
- 免疫研究に必要な基礎と応用にかかる知識を習得する。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
細胞の分子生物学; 第7版	Bruce Alberts、 Julian Lewis、 Martin Raff 他	ニュートン プレス

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	90%
口頭試問	10%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	細胞分子生物学概論(細胞とゲノム) 原核細胞と真核細胞における細胞や染色体の構造について学び、細胞内小器官の機能についても学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：原核細胞、真核細胞、染色体、細胞内小器官 事後：事前配布資料の予習	

# 細胞分子生物学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	細胞分子生物学概論(細胞骨格とタンパク質) 細胞骨格の組成と構造および細胞内でのタンパク質合成機序について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：細胞骨格、タンパク質合成 事後：前回学習の事後レポート提出	
3	細胞分子生物学概論(細胞と情報伝達) 細胞内外の刺激にかかる細胞内の情報伝達のあり方について学び、各種カスケードの詳細についても学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：細胞内情報伝達、カスケード 事後：学習の事後レポート提出	
4	細胞分子生物学概論(細胞周期とアポトーシス) 細胞周期及びアポトーシスに関する分子制御の概要を理解して、腫瘍分子の相互作用について理解を深める。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：細胞周期、アポトーシス、腫瘍分子 事後：前回学習の事後レポート提出	
5	細胞分子生物学概論(細胞と免疫) 免疫機序における非自己認識の意義について学び、疾患との関連についても学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：免疫、自己認識 事後：前回学習の事後レポート提出	
6	硬組織の形態と機能 歯・骨などの硬組織の解剖学的形態およびその機能について講義する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：硬組織、解剖学 事後：前回学習の事後レポート提出	
7	硬組織の細胞と分化 歯・骨などの硬組織を構成する細胞の機能およびその分化過程について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：硬組織、細胞機能、分化過程 事後：事後レポート提出	
8	硬組織とその代謝 歯・骨などの硬組織のリモデリングに関わる代謝過程について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：硬組織、リモデリング 事後：前回学習の事後レポート提出	

# 細胞分子生物学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	硬組織代謝と疾患 歯・骨などの硬組織の疾患における代謝異常について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：硬組織、疾患、代謝異常 事後：前回学習の事後レポート提出	
10	硬組織研究法 歯・骨などの硬組織の研究手法を主に分子生物学的手法を中心に学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：硬組織、分子生物学 事後：前回学習の事後レポート提出	
11	免疫組織・細胞の機能 炎症応答におけるリンパ系組織および細胞の役割について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：炎症応答、リンパ球、リンパ節 事後：前回学習の事後レポート提出	
12	自然免疫の概要 好中球やマクロファージ、樹状細胞の非自己認識機能について最新の研究成果を交えながら学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：【事前学習課題】パターン認識受容体、マクロファージ、樹状細胞 事後：前回学習の事後レポート提出	
13	獲得免疫の概要 B細胞、T細胞等が非自己を認識して誘導する液性・細胞性免疫の概要について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：細胞障害性T細胞、ヘルパーT細胞、B細胞 事後：前回学習の事後レポート提出	
14	免疫と疾患 免疫機能の異常により起こる疾患の発症メカニズムについて学ぶ。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：アレルギー反応、自己免疫疾患、移植片対宿主病 事後：前回学習の事後レポート提出	
15	免疫研究の実際 免疫系の実験研究の実際について概説し、当該領域の研究を遂行するために必要な実験的知識を学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：論文の抄読 事後：前回学習の事後レポート提出・15回の事後レポートは終了後時期を定めて提出	



# 分子栄養学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

## 授業の概要

管理栄養士など他職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要な栄養学の知識を学ぶ。

## 学生の到達目標

1. う蝕の栄養学について理解する。
2. 歯周病の栄養学について理解する。
3. 低栄養について理解する。
4. 栄養調査・栄養アセスメントについて理解する。
5. 飢餓と侵襲時の代謝について理解する。
6. 生活習慣病の栄養学について理解する。
7. 食事摂取基準による栄養管理の考え方を理解する。
8. 静脈経腸栄養ガイドラインによる栄養管理の考え方を理解する。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
食事摂取基準2020年版、第一出版		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	健康な人の栄養管理について学ぶ 1 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（総論、各論：エネルギー1）	

# 分子栄養学特論

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1 年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	健康な人の栄養管理について学ぶ 2 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：エネルギー、たんぱく質） 事後レポートの提出	
3	健康な人の栄養管理について学ぶ 3 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：各論：脂質、炭水化物） 事後レポートの提出	
4	健康な人の栄養管理について学ぶ 4 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：ビタミン、ミネラル）	
5	健康な人の栄養管理について学ぶ 5 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：対象特性） 事後レポートの提出	
6	健康な人の栄養管理について学ぶ 6 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連） 事後レポートの提出	
7	傷病者等の栄養管理について学ぶ 1 飢餓と侵襲の代謝について学ぶ。	講義・演習	辻澤 利行	飢餓、侵襲	
8	傷病者等の栄養管理について学ぶ 2 静脈経腸栄養ガイドラインの考え方を学ぶ。	講義・演習	辻澤 利行	静脈経腸栄養ガイドライン 事後レポートの提出	
9	特別な食事療法が必要な人への栄養管理について糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病の患者の栄養管理考え方について学ぶ。	講義・演習	辻澤 利行	糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病 事後レポートの提出	

# 分子栄養学特論

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	う蝕の細菌学・栄養学 1 歯科の二大疾患であるう蝕の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	う蝕、う蝕原性細菌、う蝕の予防法	
11	う蝕の細菌学・栄養学 2 歯科の二大疾患であるう蝕の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	う蝕、う蝕原性細菌、う蝕の予防法 事後レポートの提出	
12	歯周病の細菌学・栄養学 1 歯科の二大疾患である歯周病の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	歯周病、歯周病原性細菌、歯の喪失と栄養	
13	歯周病の細菌学・栄養学 2 歯科の二大疾患である歯周病の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	歯周病、歯周病原性細菌、歯の喪失と栄養 事後レポートの提出	
14	歯科臨床栄養学 歯科臨床栄養学について考える。	講義・演習	辻澤 利行	after-action report periodontal disease, periodontopathic bacteria, tooth loss and nutrition	
15	地域貢献活動 他職種が行う地域貢献活動を学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	減塩の日、栄養の日、食育白書 事後レポートの提出	

# 医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	中道 敦子, 邵 仁浩						

## 授業の概要

医療政策学特論では、我が国の医療供給体制、医療計画、各種保健事業、医療保険制度、診療報酬制度等について学習するとともに、それぞれの関係法令等の歴史的経緯及び施策の要点について学習する。また、健康社会学の歴史と概念、具体的なアプローチ方法と研究方法、対象と領域、ヘルスプロモーション等について学習する。

## 学生の到達目標

1. 保健医療政策および社会保険政策の概要を説明できる。2. 医療法と関連する政策を理解できる。3. 医療従事者に関連する政策を理解できる。4. 保健衛生関係法規と関連する政策を理解できる。5. 健康保険法と関連する政策を理解できる。6. 健康社会学の概念を説明できる。7. 健康社会学のアプローチを詳細に説明できる。8. 健康社会学の研究方法を詳細に説明できる。9. 健康・医療の社会学の系譜を詳細に説明できる。10. 健康社会学の対象と領域を詳細に説明できる。11. ヘルスプロモーションを詳細に説明できる。12. 社会健康学における歯科医療者の役割を理解できる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を提示する		

## 参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会
保険と年金の動向	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所 編	メディクメディア
健康と病気の社会学第9版, 2013	コンラッド ほか	ワーク出版
保健社会学 - 生活・労働・環境問題, 1993	園田恭一 ほか	有信堂
医療六法	中央法規出版 編	中央法規出版
医療の価値と価格	田倉智之	医学書院

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

# 医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	中道 敦子, 邵 仁浩						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	保健医療政策の概要 保健医療行政の仕組み、政策決定の方法、行政機関および医療関係団体の役割等について学習する。 【事前学習課題】保健医療行政、医療関係団体	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
2	医療法と関連する政策 病診連携の推進、地域医療支援病院、特定機能病院の認可要件と役割について学習する。【事前学習課題】医療機関の種類と連携	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
3	医療法と関連する政策 病院・診療所における医薬品・医療機器の安全管理対策、院内感染防止対策について学習する。【事前学習課題】歯科医療機関の医療安全対策	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
4	医療従事者に関連する政策 歯科医療従事者の資質向上施策、チーム医療の推進における看護業務の見直し等の動向について学習する。【事前学習課題】チーム医療と多職種連携	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
5	健康増進法等と関連する政策 国民健康づくり運動の経緯、健康日本21（第2次）および歯科口腔保健法に基づく施策の動向について学習する。【事前学習課題】健康日本21（第2次）、歯科保健目標	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
6	地域保健法等と関連する政策 衛生行政の沿革、保健所・市町村保健センターにおける業務の現況、健康危機管理への対応について学習する。【事前学習課題】保健所・市町村保健センターの業務	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

# 医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	中道 敦子, 邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	社会保険政策の概要 高齢化の進展に伴う医療保険制度、年金保険制度および介護保険制度のあり方に関する政策の動向を学習する。【事前学習課題】医療保険制度、介護保険制度	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
8	健康保険法と関連する政策 保険診療および保険外併用療法（選定療養、評価療養）の仕組み、診療報酬の改定、高額療養費制度等について学習する。【事前学習課題】保険診療の仕組み、診療報酬制度	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
9	健康社会学の理論 健康社会学の歴史、健康社会学のコンセプト、原則、モデルを学習する。【事前学習課題】健康社会学のコンセプト	講義	中道 敦子	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
10	健康社会学のアプローチ 健康社会学の具体的なアプローチ方法を概説する。ヘルスプロモーションと健康教育における理論を学習する。【事前学習課題】ヘルスプロモーションと健康教育	講義	中道 敦子	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
11	健康社会学の研究手法 健康社会学の研究領域を学んで、その研究モデルを理解する。【事前学習課題】健康社会学の研究領域	講義	中道 敦子	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
12	健康・医療の社会学の系譜 疾病構造、社会的課題、医療の発展などを学習する。【事前学習課題】疾病構造の変化と医療の発展	講義	中道 敦子	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
13	健康社会学の対象と領域 地域住民、学校、労働者など対象別の課題とその解決方法を学習する。【事前学習課題】地域住民の健康社会学上の課題	講義	中道 敦子	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室

# 医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	中道 敦子, 邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	ヘルスプロモーション 地域歯科医療分野におけるヘルスプロモーションの事例を挙げて、その課題を抽出し、その考察をする。【事前学習課題】地域歯科医療におけるヘルスプロモーション	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
15	まとめ 健康社会学における歯科医療者の役割を学習する。【事前学習課題】健康社会学における歯科医療者の役割	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室

# 高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

## 授業の概要

口腔機能を通じて高齢者の生活を守り、健康寿命の延長のために必要な歯科衛生士の役割について講義する。摂食嚥下機能評価および口腔内状況の評価に基づき、理論的に口腔健康管理を実践するための方法を修得する。

## 学生の到達目標

- ・加齢や疾患、障害など様々な要因によって生じる口腔の機能の複合的低下している疾患(口腔機能低下症)について説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者に対する医療や介護において、歯科衛生士の関わりを説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者等に対して歯科衛生士が行う口腔健康管理について説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者等に対して行う口腔健康管理に必要な介護技術や食事支援について説明できる。
- ・口腔機能の評価法について説明できる。・口腔機能が低下した高齢者等に関する研究論文を精読できる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
関連論文および資料を配布する。		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店

## 参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

## その他

学生相談：随時e-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	超高齢社会の現状社会の中における高齢者の位置づけや高齢者福祉について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams



# 高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	医療保険制度において歯科衛生士が関わる内容について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
3	介護保険制度において歯科衛生士が関わる内容について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
4	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理1 脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
5	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理2 認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
6	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理3 廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
7	体位の確保と体位の移動様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	口腔機能の診断と評価 1 嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
9	口腔機能の診断と評価 2 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
10	口腔機能の診断と評価 3 咬合圧の評価、舌・更新運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
11	口腔機能の診断と評価 4 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
12	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、患者への動機づけをどのように行うか関連する論文を精読して検討する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
13	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、生活指導や栄養指導についてどのように行うか関連する論文を精読して考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
14	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、維持回復を目指した訓練をどのように行うことが望ましいか関連する論文を精読して考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、病院、施設、在宅におけるそれぞれの患者に対して多職種が連携する方法について関連論文を精読して考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

## 授業の概要

急性期患者に対応する病院や地域保健において、口腔保健関連業務を中核的に担うための知識を修得することを目的とする。

## 学生の到達目標

- 急性期における口腔機能管理の概要を説明できる
- 急性期における口腔機能管理の目的を説明できる
- 急性期における患者の口腔有害事象を説明できる
- 挿管患者に対する口腔衛生管理について説明できる
- 緩和ケアを受ける患者への口腔管理について説明できる

## 参考書

タイトル	著者	出版社
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女さき子	医歯薬出版
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会学術委員会	医学書院
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博	クインテッセンス出版

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポートまたは発表	100%

## その他

学生相談：月～金の16:30～17:30 61オフィスまたはメールにて連絡をください。  
事前・事後学習課題および方法については学習状況により指示を行います。

# 専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	急性期口腔機能管理総論 ・周術期等口腔機能管理の対象患者について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 周術期とは	
2	がん患者の口腔症状と問題点 ・がん患者の口腔症状について説明できる ・がん治療の種類と口腔内有害事象について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] がん治療（化学療法、放射線療法、手術）	
3	口腔がん手術と口腔管理 口腔がん以外の手術と口腔管理 ・手術前後の口腔管理、また術後の口腔有害事象について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 手術後創部感	
4	挿管患者への口腔管理 ・全身麻酔下手術予定患者に対する術前歯科治療および歯科衛生指導、口腔衛生管理について説明できる ・人工呼吸器装着患者に対し、人工呼吸器関連肺炎予防を目的とした口腔清掃方法について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] VAP	
5	口腔がん放射線治療と口腔管理 ・口腔がん放射線治療時の口腔有害事象を列挙できる ・口腔がん放射線治療後の有害事象と、予防方法について患者に説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 口腔がん、口腔粘膜 炎	

# 専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	口腔がん化学療法と口腔管理 口腔がん以外の化学療法と口腔管理 ・化学療法時に起こりうる口腔内有害事象を時系列で説明できる ・化学療法時の全身的副作用を時系列で説明できる ・化学療法時の全身的副作用を考慮した口腔衛生管理について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 化学療法、抗がん剤、ナディア期	
7	臓器移植予定患者への口腔管理 ・臓器移植手術を受けるまでの流れについて説明できる ・臓器移植手術を受ける患者の口腔内に現れる有害事象について説明できる ・臓器移植手術を受ける患者の術後の注意点について、歯科衛生士として説明ができる	講義	船原 まどか	[キーワード] 臓器移植	
8	心臓血管外科手術と口腔管理 ・心臓血管外科手術前の歯科治療の必要性および歯科診療時の留意点を説明できる ・心臓血管外科手術後の口腔衛生管理の必要性および方法について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 心臓血管外科手術、IE	
9	在宅療養がん患者と口腔管理 ・在宅療養を行うがん患者の口腔症状と問題点について説明できる ・地域包括ケアにおける多職種との連携を理解する	講義	船原 まどか	[キーワード] 地域包括ケアシステム、在宅医療	

# 専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	緩和ケアにおける口腔管理 ・告知の必要性について説明できる ・死の受容プロセスについて説明できる ・人生の最終段階にある人の疼痛のアセスメント及びコントロールの方法を理解し、口腔に関わる疼痛緩和のためのケアを説明できる ・死後の家族のケア（グリーフケア）について説明できる。	講義	船原 まどか	[キーワード] 告知、緩和ケア、グリーフケア、死生観	
11	多職種連携 ・急性期に関わる多職種について述べる事ができる ・多職種と連携する中で、歯科衛生士の役割について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 呼吸サポートチーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム	
12	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案（1） ・歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	
13	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案（2） ・歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	
14	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案（3） ・歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	
15	総合討論 提示された症例に対し、多職種の役割と連携を理解したディスカッションができる。	講義	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	

# 摂食嚥下リハビリテーション学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

## 授業の概要

超高齢社会における高齢者のQOLの維持向上のために、歯科衛生士が摂食嚥下障害を理解し、その摂食嚥下リハビリテーションを実践、指導するために必要な知識や技術を習得する。

## 学生の到達目標

摂食嚥下障害を総括的に学修する。

## 参考書

タイトル	著者	出版社
摂食嚥下リハビリテーション第3版	才藤栄一ら編	医歯薬出版

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
試問・単位認定試験	80%
レポート	10%
プレゼンテーション	10%

## その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはemailで質問などは受け付ける。

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	リハビリテーションとは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：リハビリテーション 事後レポートの提出	
2	摂食嚥下とは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：摂食嚥下 事後レポートの提出	
3	摂食嚥下障害とは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：摂食嚥下障害 事後レポートの提出	



# 摂食嚥下リハビリテーション学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	小児の摂食嚥下障害	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：小児の摂食嚥下障害 事後レポートの提出	
5	高齢者の摂食嚥下障害	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：高齢者の摂食嚥下障害 事後レポートの提出	
6	摂食嚥下障害の問診とスクリーニング	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：摂食嚥下障害の問診とスクリーニング 事後レポートの提出	
7	摂食嚥下障害に対する嚥下造影（VF）	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：嚥下造影 事後レポートの提出	
8	摂食嚥下障害に対する内視鏡下嚥下機能検査（VE）	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：内視鏡下嚥下機能検査 事後レポートの提出	
9	摂食嚥下障害と口腔衛生管理	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：口腔衛生管理 事後レポートの提出	
10	摂食嚥下障害に対する間接訓練	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：間接訓練 事後レポートの提出	
11	摂食嚥下障害に対する直接訓練	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：直接訓練 事後レポートの提出	

# 摂食嚥下リハビリテーション学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	摂食嚥下障害に応じた栄養管理と食物形態	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：栄養管理と食物形態 事後レポートの提出	
13	摂食嚥下障害における多職種連携	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：多職種連携 事後レポートの提出	
14	症例検討	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：症例のまとめ 事後レポートの提出	
15	総括，試問，単位認定試験	講義・試験（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：試問への準備 事後レポートの提出 最終レポートの提出	

# 歯科疫学・統計学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

## 授業の概要

口腔健康学関連の研究に必要な疫学理論、生物統計学、因果推論について基本的知識を修得し、臨床疫学、環境疫学など様々なテーマを付け加えた疫学の応用研究に対応できる能力を養う。

## 学生の到達目標

疫学における統計学の役割を説明できる。保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を説明できる。保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を説明できる。疫学における交絡および因果関係を説明できる。

## 参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版	スティーブン B. ハリー ほか	メディカルサイエンスインターナショナル
ロスマンの疫学	ケネス J. ロスマン	篠原出版新社

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
発言内容	20%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	疫学理論-疾病頻度疾病頻度について、疾病量の指標を踏まえながら学習する。	講義	邵 仁浩	疾病量の指標 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室

# 歯科疫学・統計学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3~5	疫学理論-疫学研究の種類記述疫学、分析疫学、介入疫学の目的と流れを習得する。	講義	邵 仁浩	研究デザイン 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615講義室
6,7	疫学理論-バイアスと交絡バイアスと交絡について、研究デザインを踏まえながら制御方法を学習する。	講義	邵 仁浩	バイアス 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615講義室
8,9	因果推論因果推論について、研究デザインを踏まえながら学習する。	講義	邵 仁浩	因果推論 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615講義室
10	疫学理論-研究仮説の設定研究仮説の設定について、文献検索を踏まえながら学習する。	講義	邵 仁浩	研究仮説の設定方法 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615講義室
11	口腔保健医療行政の保健医療事業評価口腔保健医療事業評価について、具体的な事例を踏まえながら評価の考え方を学習する。	講義	邵 仁浩	口腔保健医療事業評価の方法 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615講義室
12,13	生物統計学-偶然誤差と統計の役割口腔保健医療データ解析における統計の役割を学習する。	講義	邵 仁浩	偶然誤差、系統誤差、統計学的仮説検定と推定 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615講義室

# 歯科疫学・統計学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	生物統計学-単純な口腔保健医療データの解析 単純な口腔保健医療データを解析するのに必要な統計手法を学習する。	講義	邵 仁浩	効果指標の信頼区間 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
15	生物統計学-回帰モデルの利用 重回帰分析および多重ロジスティック回帰分析について学習する。	講義	邵 仁浩	重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室

# 細胞分子生物学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 秋房 住郎						

## 授業の概要

細胞生物学と分子生物学の基礎と応用について概説し、実験手法を学習する。

## 学生の到達目標

1. 細胞培養の原理と手技を説明できる。2. 細胞分化の検出方法を説明できる。3. 細胞の活性化の検出方法を説明できる。4. アポトーシスによる細胞死の検出方法を説明できる。5. タンパク質の分離と分析方法を説明できる。6. 核酸の分析方法を説明できる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
講義ごとに資料を配布する。		

## 参考書

タイトル	著者	出版社
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ) 1 分子生物学実験の基礎		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ) 2 遺伝子解析の基礎		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ) 3+ 本当にふえるPCR		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ) 5 タンパクなんてこわくない		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ) 6 すくすく育て細胞培養		(秀潤社)
マウス・ラット実験ノート はじめての取り扱い、飼育法から投与、解剖、分子生物学的手法まで(無敵のバイオテクニカルシリーズ)		(秀潤社)

# 細胞分子生物学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 秋房 住郎						

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	細胞培養の基礎(その1) 細胞の取り扱い方 培地の作り方	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 細胞培養、培地、無菌的操作	
2	細胞培養の基礎(その2) 細胞の継代	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 細胞継代、接着細胞、浮遊細胞	
3	細胞培養の基礎(その3) 細胞の保存	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 細胞保存、分注、液体窒素 事後レポートの提出	
4	動物の取り扱い方(その1) マウス、ラットの取り扱い方	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 マウス、ラット	
5	動物の取り扱い方(その2) 動物への薬物の投与方法	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 経口投与、経静脈投与、腹腔投与	
6	動物の取り扱い方(その3) 動物からの採血法	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 採血 事後レポートの提出	
7	マウスからの臓器・細胞の調製(その1) マウスの麻醉法	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 吸入麻醉、注射麻醉	

# 細胞分子生物学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1～2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	マウスからの臓器・細胞の調製（その2） 脾臓細胞、骨髄細胞、腹腔マクロファージの調製法	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 脾臓、骨髄、腹腔、マクロファージ	
9	マウスからの臓器・細胞の調製（その3） 初代骨芽細胞の調製法	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 骨芽細胞、primary cell 事後レポートの提出	
10	細胞の分化（その1） 骨髄系幹細胞の分化の理論と実際	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 骨髄系幹細胞、分化	
11	細胞の分化（その2） 骨芽細胞の分化の理論と実際	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 骨芽細胞、分化	
12	細胞の分化（その3） 樹立系細胞の分化の理論と実際	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 樹立系細胞、分化 事後レポートの提出	
13	細胞の活性化（その1） リンパ球活性化の検出	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 リンパ球	
14	細胞の活性化（その2） 骨芽細胞を介した破骨細胞の活性化	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 破骨細胞	
15	細胞の活性化（その3） アディポカインなどの生理活性物質の免疫学的検討	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 アディポカイン、免疫 事後レポートの提出	



# 細胞分子生物学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
16	アポトーシス(その1) アポトーシスの機序と検出法の理論	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 アポトーシス	
17	アポトーシス(その2) 破骨細胞、マクロファージのアポトーシス	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 破骨細胞、マクロファージ、アポトーシス	
18	アポトーシス(その3) アポトーシス細胞の検出方法の実際	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 アポトーシス 事後レポートの提出	
19	PCRによるDNAの分析(その1) PCR法とRT-PCR法の原理	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 PCR法、RT-PCR法	
20	PCRによるDNAの分析(その2) 細胞(臓器)からのDNAの調製と定量	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 DNA、調製、定量	
21	PCRによるDNAの分析(その3) PCR反応の実施 アガロースゲル電気泳動と生成物の検出	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 DNA、アガロースゲル電気泳動 事後レポートの提出	
22	タンパク質の分離と定量法(その1) 細胞(臓器)からのタンパク質の調製	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 タンパク質調製	
23	タンパク質の分離と定量法(その2) タンパク質の定量	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 タンパク質、定量	

# 細胞分子生物学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
24	タンパク質の分離と定量法（その3） タンパク質の分離の原理	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 タンパク質、分離 事後レポートの提出	
25	SDS-PAGEによるタンパク質の分離（その1） 電気泳動の種類と原理	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 SDS-PAGE、タンパク質	
26	SDS-PAGEによるタンパク質の分離（その2） アクリルアミドゲルの作成と試料の調製方法	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 アクリルアミドゲル	
27	SDS-PAGEによるタンパク質の分離（その3） SDS-PAGEの実施とゲル染色	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 ゲル染色 事後レポートの提出	
28	Western Blotting によるタンパク質の分析（その1） Western Blotting法とELISA法の原理	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 Western Blotting法、ELISA法	
29	Western Blotting によるタンパク質の分析（その2） PVDR膜への転写とBlocking	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	【事前学習課題】 PVDR膜、転写、Blocking	
30	Western Blotting によるタンパク質の分析（その3） 1次抗体との反応 2次抗体との反応	講義・演習	秋房 住郎 辻澤 利行	[prior learning] PVDR、transcription、blocking	

# 分子栄養学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

## 授業の概要

管理栄養士など多職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要な栄養学関連の文献・指針等を精読する。

## 学生の到達目標

1. 論理的に説明できる。
2. 実験手技および調査方法についてその原理を理解・説明できる。
3. 結果の解釈を理解・説明できる。
4. 分子栄養学特論の理解度を深める

## テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
質疑応答	50%

## その他

学生相談：随時

# 分子栄養学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~30	栄養学に関する文献・指針等を抄読し、研究の背景と文献・指針の内容、および関連分野の研究の今後の展望を学習する。また、プレゼンテーション能力や質問に回答していきながら科学的な質疑応答能力を養っていく。	文献抄読、討論	辻澤 利行	文献検索・抄読	

# 高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

## 授業の概要

加齢だけでなく、疾患や障害など様々な要因によって生じる口腔機能の低下(口腔機能低下症)を学修したうえで、口腔機能を適切に診断し維持回復するために必要な評価法を演習する。さらに口腔機能が低下した高齢者に対して歯科衛生士が行う口腔健康管理および実施の際に必要な介護技術や介護食支援について演習する。これまで明らかになっている先行論文等を精読したうえで、患者や施設高齢者に対して口腔機能評価を実践する。

## 学生の到達目標

- ・摂食嚥下障害や口腔機能低下症を診断する検査ができる。
- ・口腔健康管理を行う際に必要な介護技術ができる。
- ・口腔健康管理を行う際に必要な食事支援ができる。
- ・様々な疾患を持つ患者や施設入所者を想定して口腔健康管理ができる。
- ・研究調査において口腔機能評価ができる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
関連論文および資料を配布する。		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店

## 参考書

タイトル	著者	出版社
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

## その他

学生相談：随時e-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔機能の診断と評価1-1 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1～2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	口腔機能の診断と評価1-2 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
3	口腔機能の診断と評価2-1 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
4	口腔機能の診断と評価2-2 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
5	口腔機能の診断と評価3-1 咬合圧の評価、舌・口唇運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
6	口腔機能の診断と評価3-2 咬合圧の評価、舌・口唇運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
7	症例1-1：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	症例1-2：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
9	症例1-3：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
10	症例2-1：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
11	症例2-2：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
12	症例2-3：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	症例3-1：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
14	症例3-2：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
15	症例3-3：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
16	体位の確保と体位の移動1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
17	体位の確保と体位の移動2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
18	体位の確保と体位の移動3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams



# 高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1～2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
19	間接訓練1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
20	間接訓練2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
21	間接訓練3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
22	食事支援1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
23	食事支援2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
24	食事支援3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
25	口腔機能が低下した高齢者に関する歯科衛生研究1 研究の背景と文献の内容、および関連分野の研究について学修する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
26	口腔機能が低下した高齢者に対する歯科衛生研究2 研究の背景と文献の内容、および関連分野の研究について学修する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
27	口腔機能評価1 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
28	口腔機能評価2 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
29	口腔機能評価3 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
30	口腔機能評価4 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習		レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

# 専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

## 授業の概要

急性期口腔機能管理に必要な知識と技術を習得する。

本講義は本大学大学院歯学研究科口腔保健学専攻ディプロマポリシーにおける、

- ・科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践することができる
- ・全ての世代に対して全身の健康という視点に立った口腔保健活動ができる
- ・多職種と主体的に連携して、口腔保健活動を通じて社会貢献ができる

能力の育成に資する。

## 学生の到達目標

1. 急性期における歯科衛生士の役割を説明できる
2. 口腔がん治療を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
3. 口腔がん以外のがん治療を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
4. がん以外の手術を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
5. 挿管患者に対する口腔衛生管理を実施できる
6. 緩和ケアを受ける患者に対し、他職種と連携し口腔管理を実施できる
7. 急性期における歯科衛生過程を作製できる

## 参考書

タイトル	著者	出版社
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会学術委員会	医学書院
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女さき子	医学書院
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博、五月女さき子	クインテッセンス出版

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポートまたはプレゼンテーション	70%
講義前試問	30%

# 専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

## その他

学生相談：月～金の16:30～17:30 61オフィスまたはメールにて連絡をください。  
事前・事後学習課題および方法については学習状況により指示を行います。

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	急性期における歯科衛生士の役割 (1) ・急性期における歯科の関わりと 歯科衛生士の役割を説明できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	
2	急性期における歯科衛生士の役割 (2) ・急性期における歯科の関わりと 歯科衛生士の役割を説明できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	
3	がん患者の口腔症状と問題点 ・がん患者の口腔症状について説 明できる ・がん治療の種類と口腔内有害事 象について説明できる	講義 演習	船原 まどか	[keyword] Instruct students according to their readiness	
4	口腔管理の基本技術 ・急性期における口腔管理に用い る物品の使用法・基本技術を実 施できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 含嗽剤、スポンジブ ラシ、歯ブラシ、口 腔保湿剤、口腔内吸 引機	
5	口腔がん手術患者症例(1) ・症例検討および口腔衛生管理計 画を作製・立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 口腔がん、手術部位 感染	
6	口腔がん手術患者症例(2) ・症例検討および口腔衛生管理計 画を作製・立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 口腔がん、手術部位 感染	
7	口腔がん以外の手術患者症例 ・症例検討および口腔衛生管理計 画を作製・立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	

# 専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1～2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	挿管患者への口腔管理計画立案（1） ・挿管患者における手術前後の問題点、口腔有害事象をふまえ、症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 経口挿管、人工呼吸器関連肺炎	
9	挿管患者への口腔管理計画立案（2） ・挿管患者における手術前後の問題点、口腔有害事象をふまえ、症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 経口挿管、人工呼吸器関連肺炎	
10	口腔がん放射線治療症例（1） ・口腔がん放射線治療患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 放射線治療、口腔粘膜炎	
11	口腔がん放射線治療症例：（2） ・口腔がん放射線治療患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 放射線性顎骨壊死	
12	口腔がん化学療法症例（1） ・口腔がん化学療法患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 化学療法、抗がん剤、ナディア期	
13	口腔がん化学療法症例（2） ・口腔がん化学療法患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 口腔粘膜炎、分子標的薬	
14	薬剤関連顎骨壊死症例検討（1） ・歯科衛生士として行う薬剤関連顎骨壊死発症予防対策や、発症後の悪化予防に関わる口腔衛生管理計画を立案できる	講義演習	船原 まどか	[キーワード] 薬剤関連顎骨壊死、骨粗鬆症、ビスホスホネート製剤	

# 専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	薬剤関連顎骨壊死症例検討(2) ・歯科衛生士として行う薬剤関連顎骨壊死発症予防対策や、発症後の悪化予防に関わる口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	
16	心臓血管外科手術症例 ・心臓血管外科手術予定患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 狭心症、心筋梗塞、 心臓血管外科手術、 IE、歯周病	
17	在宅療養がん患者症例 ・在宅にて療養するがん患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 地域包括ケアシステ ム、在宅医療	
18	緩和医療・緩和ケアについて ・緩和医療および緩和ケアの基本知識について説明できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	
19	緩和ケア症例 ・緩和ケアを受ける患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 告知、緩和ケア、グ リーフケア、死生観 、口腔乾燥	
20	急性期における多職種連携 ・急性期における多職種連携に必要な口腔に関する情報を伝達することを目的とした連絡シートの作製ができる	演習	船原 まどか	[キーワード] 栄養サポートチーム 、呼吸サポートチ ーム、緩和ケアチ ーム	

# 地域歯科衛生活動演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

## 授業の概要

地域歯科保健活動の実際を通して、地域住民の健康づくりを支援するための歯科衛生士の役割および具備すべき能力を修得する。

## 学生の到達目標

1．地域保健のシステムと歯科衛生士の役割が説明できる。2．地域歯科衛生活動の内容が説明できる。3．対象集団への歯科衛生活動計画を立案できる。4．地域歯科衛生活動を実践できる。5．歯科衛生活動を評価できる。6．地域住民の健康づくりに関わる人々と連携できる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
保健生態学第2版	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
咀嚼の本2	口腔保健協会	口腔保健協会

## 参考書

タイトル	著者	出版社
よくわかる摂食・嚥下のメカニズム第2版	山田好秋	医歯薬出版
フレイル 超高齢社会における重要課題と予防戦略	葛谷雅文	医歯薬出版
咀嚼機能アップBOOK	小野高裕、増田裕次	クインテッセンス出版
子どもの口腔機能を育てる本	浜野美幸	医歯薬出版
その他最新の情報を各自で入手しておくこと		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

## その他

学修相談は随時受けます 中道敦子：月～金 16：30～17：30/内線 8022/またはメール 初年次の初めに開講期間を通しての学修計画を共有します。活動フィールドがある場合は各自で作成した実施計画を持参してください。

# 地域歯科衛生活動演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1～2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	地域歯科衛生活動の基礎1	講義遠隔授業	中道 敦子	【事前学習課題】地域歯科保健	
2	地域歯科衛生活動の基礎 2	講義遠隔授業	中道 敦子	【事前学習課題】地域歯科保健	
3	地域住民に対する歯科衛生活動情報収集	演習	中道 敦子	事後レポート	
4	地域住民に対する歯科衛生活動計画立案	演習	中道 敦子	事後レポート	
5	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
6	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
7	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
8	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
9	地域住民に対する歯科衛生活動評価	演習	中道 敦子	事後レポート	
10	地域住民に対する歯科衛生活動報告とフィードバック	講義・演習遠隔授業	中道 敦子	【事前学習課題】地域歯科保健と歯科衛生活動	
11	高齢者に対する歯科衛生活動情報収集	演習	中道 敦子	事後レポート	
12	高齢者に対する歯科衛生活動計画立案	演習	中道 敦子	事後レポート	
13	高齢者に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
14	高齢者に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	



# 地域歯科衛生活動演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1～2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	高齢者に対する歯科衛生活動 実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
16	高齢者に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
17	高齢者に対する歯科衛生活動評価	演習	中道 敦子	事後レポート	
18	高齢者に対する歯科衛生活動 報告とフィードバック	講義・演習遠隔授業	中道 敦子	【事前学習課題】口腔機能低下と栄養	
19	地域住民に対する歯科衛生活動情報収集	演習	中道 敦子	事後レポート	
20	地域住民に対する歯科衛生活動計画立案	演習	中道 敦子	事後レポート	
21	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
22	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
23	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
24	地域住民に対する歯科衛生活動実践	演習	中道 敦子	事後レポート	
25	地域住民に対する歯科衛生活動評価	演習	中道 敦子	事後レポート	
26	地域住民に対する歯科衛生活動報告とフィードバック	講義・演習遠隔授業	中道 敦子	【事前学習課題】ライフステージと歯科衛生活動	
27	地域歯科衛生活動の展望 実践を踏まえたディスカッション	講義・演習遠隔授業	中道 敦子	【事前学習課題】地域歯科保健と歯科衛生活動の現状についての見解	

# 地域歯科衛生活動演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
28	地域歯科衛生活動の展望 実践を踏まえたディスカッション	講義・演習遠隔授業	中道 敦子	【事前学習課題】地域歯科保健と歯科衛生活動の展望	
29	口腔保健に関する最新の研究論文検索	演習	中道 敦子	【事前学習課題】論文検索のタイトルリスト【事後学習課題】抄読レポート	
30	口腔保健に関する最新の研究論文検索	演習	中道 敦子	【事前学習課題】論文検索のタイトルリスト【事後学習課題】抄読レポート	

# 摂食嚥下リハビリテーション学セミナー

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

## 授業の概要

摂食嚥下リハビリテーション関連の最新の研究の動向を知るために文献を検索し、精読する。また、各自の研究内容のプレゼンテーション・ディスカッションを行い、今後の研究について展望する。

## 学生の到達目標

摂食嚥下障害を理解し、摂食嚥下リハビリテーションを実践、指導するために必要な知識や技術を学修する。

## 参考書

タイトル	著者	出版社
紹介する論文、関連文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	80%
レポート	20%

## その他

【オフィスアワー】演習の前後、またはemailで質問などは受け付ける。

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~60	論文抄読 研究の背景や、関連する文献の精読とプレゼンテーションを行う。研究報告 自身の研究内容(経過,学会発表準備)に関するプレゼンテーションを行う。	論文紹介および討論研究内容の報告と討論(遠隔により実施を含む)	藤井 航	文献の精読 研究結果の整理 プレゼンテーションの準備	

# 歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

## 授業の概要

講義では、口腔健康学関連の研究に必要な疫学理論、生物学的統計、因果推論について基本的知識と技能を修得し、臨床疫学、環境疫学など様々なテーマを付け加えた疫学の応用研究に対応できる能力を養う。演習では、事例に基づいたデータを用い、統計ソフトの取り扱いとともに疾病量の指標、記述疫学的方法論、分析疫学的方法論、因果関係の判定法等について修得する。

## 学生の到達目標

- 疫学における統計学の役割を説明できる。
- 保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を身につけ対応できる。
- 保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を身につけ対応できる。
- 疫学における交絡および因果関係を説明できる。
- 統計ソフトEZRを使用し、データの解析を実践できる。

## 参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版	スティーブン B. ハリー ほか	メディカルサイエンスインターナショナル
ロスマンの疫学	ケネス J. ロスマン	篠原出版新社

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート（報告書） レポートはルーブリックを用いて評価する。	50%
プレゼンテーション	50%

## その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはe-mailで質問などは受け付ける。

# 歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	疫学理論-疾病頻度疾病量の指標について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	疾病量の指標 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
2,3	口腔保健医療データ解析-要約統計量具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら要約統計量について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
4	疫学理論-疫学研究の種類記述疫学、分析疫学、介入疫学の目的と流れについて事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	研究デザイン 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
5,6	口腔保健医療データ解析-単変量解析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら単変量解析について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
7	疫学理論-バイアスと交絡研究デザインを踏まえながらバイアスの制御方法について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	バイアス 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
8,9	口腔保健医療データ解析-多重線形回帰分析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら単変量線形回帰および多重線形回帰分析について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
10	因果推論研究デザインを踏まえながら因果推論について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	因果推論 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室

# 歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	前期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11,12	口腔保健医療データ解析 - 交絡制御 具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら交絡因子の統計学的調整と交互作用について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
13	疫学理論-研究仮説の設定 文献検索を踏まえながら研究仮説の設定について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	研究仮説の設定方法 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
14,15	口腔保健医療データ解析 - 相対危険 具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながらオッズ比と相対危険について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
16,17	口腔保健医療データ解析 - 多重ロジスティック回帰分析 具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら多重ロジスティック回帰分析について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
18,19	口腔保健医療データ解析 - 多重Cox 比例ハザードモデル 具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら多重Cox 比例ハザードモデルについて学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
20,21	口腔保健医療データ解析 - より複雑なモデル マルチレベル分析、傾向化スコアについて学習する。【事前学習課題】マルチレベル分析、傾向化スコア	講義	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 615 講義室
22-29	口腔保健医療行政の保健医療事業報告書の作成 具体的な口腔保健医療事業を評価し、報告書を作成する。	演習	邵 仁浩	レポート(報告書)の提出	Moodle Microsoft Teams 615 講義室

# 歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
30	まとめ 作成した口腔保健医療事業報告書の内容をプレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出	Microsoft Teams Moodle 615講義室

# 口腔科学研究(邵)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

## 授業の概要

口腔科学研究では、歯科保健に関わる研究に必要な疫学理論、生物学的統計、因果推論について基本的知識と技能を修得するとともに、事例に基づいたデータを用い、統計ソフトの取り扱いとともに疾病量の指標、記述疫学的方法論、分析疫学的方法論、因果関係の判定法等について修得する。

## 学生の到達目標

1. 疫学における統計学の役割を説明できる。2. 保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を説明できる。3. 保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を説明できる。4. 疫学における交絡および因果関係を説明できる。5. 学習結果をプレゼンテーションできる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション ルーブリックにて評価する。	50%
報告書 ルーブリックにて評価する。	50%

## その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはe-mailで質問などは受け付ける。



# 口腔科学研究(邵)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する。・疫学理論1-疾病頻度、疫学研究の種類・疫学理論2-バイアスと交絡、因果推論・疫学理論3-研究仮説の設定・歯科保健データの解析方法・論文を作成する。	・講義・文献抄読・検討・作成した論文の検討	邵 仁浩	・論文検索、抄読・事前配布された資料により学習する。	Moodle Microsoft Teams 615 講義室

# 口腔科学研究(秋房)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

## 授業の概要

高齢者の全身と口腔の健康の関連について、疫学的研究手法および統計学的手法を用いた研究の実践に関する指導を行う。また、研究成果をもとに論文を作成する。研究の進捗に応じて学会発表を行う。

## 学生の到達目標

- 高齢者の全身と口腔の健康状態との関連について、統計学的手法を用いて解明する。
- 研究結果をまとめ、論文にまとめ学術雑誌に投稿する。
- 必要に応じて学会等で研究成果を発表する。

## 参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	研究内容に即した文献を収集・抄読する。 高齢者の全身と口腔の健康の関連について、疫学的研究を行う。また、研究成果をもとに論文を作成する。	・疫学研究 ・論文抄読 ・作成した論文の検討	秋房 住郎	論文検索、抄読・実験手法の予/復習	

# 口腔科学研究(辻澤)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

## 授業の概要

健康増進のための口腔保健と栄養に関する研究を行う。

## 学生の到達目標

1. 論理的に説明する
2. 調査方法と実験手順の結果の原則と解釈を理解し、要約する
3. 研究を進める上で重要な論文を見つけて理解する。
4. 研究結果の発表を準備し、実行する

## テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	・研究論文を検索して読む。・研究プログラムの計画と実施。・結果を科学的に分析する・レポート、プレゼンテーション資料、論文の作成・討議	・論文を読む ・研究計画、実験、実践・ 成果発表資料 ・論文の作成 ・討議	辻澤 利行	・文献検索・抄読・ 研究報告・プレゼン テーション資料	

# 口腔科学研究(中道)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

## 授業の概要

口腔保健学の学際領域に対する研究志向性を担保する、優れた研究遂行能力を付与するため、また、当該領域を教授するための素養を醸成するため、口腔の健康に関連する最新の医学的・保健学的事象を学ぶとともに、当該事象を解決するための方略を創造するための応用発展的な研究手法や解析方法について、様々な観点からオムニバス形式で講義する。

## 学生の到達目標

1. わが国の公衆衛生における健康・医療に関わる制度・政策を理解し、歯科専門職の役割等について説明できる。 2. 口腔衛生学領域における疾患・異常に対する論理的観点と当該事象の解決にかかる研究手法を詳細に説明できる。 3. EBMによる口腔保健に関する基礎・臨床研究の手法を詳細に説明できる。 4. 対象者の背景に立脚した口腔保健の専門的価値観と能力の醸成に関する手法を想起する 5. 口腔状態および口腔疾患が全身状態に関係することをいかに証明するのか、そのMethodology(方法論)を説明できる。 6. 摂食行動に関与する高次脳機能、神経生理学および非侵襲的な研究手法について説明できる。 7. 栄養学領域における健康または疾患に対する論理的観点と当該事象の解決にかかる研究手法を説明できる。

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	90%
口述試問	10%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			中道 敦子		
1	公衆衛生と健康政策(1) 公衆衛生における健康・医療に関わる制度・政策を概説し、健康・医療に関連する制度・政策や社会の仕組みに、研究、人材育成、その他の専門的活動がどのように関わり貢献しているかを考える。	遠隔授業 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：公衆衛生における健康・医療に関わる制度・政策 事後：事後レポートの提出	

# 口腔科学研究(中道)

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	公衆衛生と健康政策(2) 公衆衛生における健康・医療に関連する制度・政策や社会の仕組みに、研究、人材育成、その他の専門的活動がどのように関わっているかの知見に基づき、医資源に限りがあることを前提とし、公正に効率良く資源を分配する手法について考える。	遠隔授業 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：医療資源の分配 事後：事後レポートの提出	
3	健康に対する口腔衛生学的観点(1) ヒトの健康を口腔衛生学的に考察し、その維持向上ないしは回復するためのミクロからマクロにわたる方略について考える。	遠隔授業 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：健康の概念 事後：事後レポートの提出	
4	健康に対する口腔衛生学観点(2) う蝕と歯周疾患に対する口腔衛生学的観点を概説し、それぞれの課題とその解決方法について考える。	遠隔授業 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：う蝕と歯周疾患のレビュー等の抄読 事後：事後レポートの提出	
5	回復期・慢性期に対する口腔衛生学観点 回復期から慢性期における対象者の背景(全身および口腔状態を含む)を口腔衛生学的に概説し、それぞれの研究課題と解決方法について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：回復期、慢性期の患者の状態 事後：事後レポートの提出	
6	急性期に関わる口腔有害事象と口腔機能管理 急性期に関わる口腔有害事象と、支持療法および予防法を口腔衛生学的観点から概説し、関連論文から研究課題とその解決方法について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事後：急性期に関わる口腔有害事象、支持療法、予防法 事後：事後レポートの提出	
7	歯科衛生士の高等教育的観点(1) 社会情勢と口腔保健の変遷を鑑み、専門職のリーダーに必要な価値観や能力について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：専門職のリーダーに必要な価値観や能力 事前：事後レポートの提出	

# 口腔科学研究(中道)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	歯科衛生士の高等教育的観点(2) 医学・看護学領域の教育手法を学び、口腔保健の高度な専門性を醸成するための教育手法について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：医学・看護学領域の教育手法 事後：事後レポートの提出	
9	Methodology (方法論) 1 口腔状態および口腔疾患が全身状態と関係することを証明した過去から現在までの実験的方法について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：口腔状態および口腔疾患が全身状態 事後：事後レポートの提出	
10	Methodology (方法論) 2 口腔状態および口腔疾患が全身状態と関係することを証明した過去から現在までの疫学的方法について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：口腔状態および口腔疾患が全身状態 事後：事後レポートの提出	
11	摂食嚥下支援の理論と実際 1 摂食嚥下に関する臨床学的知見に基づき、嚥下の臨床像について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：摂食嚥下 事後レポートの提出	
12	摂食嚥下支援の理論と実際 2 摂食嚥下の支援のあり方について症例から考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：摂食嚥下支援 事後：事後レポートの提出	
13	健康に対する栄養学観点(1) 健康または生活習慣病に対する栄養学的観点を概説し、それぞれの研究課題とその解決方法について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：健康または生活習慣病に対する栄養学的観点 事後レポートの提出	
14	健康に対する栄養学観点(2) 健康または生活習慣病に対する栄養学的観点を概説し、それぞれの研究課題とその解決方法について考える。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：健康または生活習慣病に対する栄養学的観点 事後レポートの提出	
15	講義全体のまとめ	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：これまでの講義の復習 事後レポートの提出	

# 口腔科学研究(藤井)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

## 授業の概要

摂食嚥下障害患者に対する口腔機能管理をはじめとする歯科的介入の効果に関して、基礎的研究や調査研究を行う。

## 学生の到達目標

1. 研究内容を論理的に説明できる。2. 調査方法および実験手技についてその原理と結果の解釈を理解でき、まとめることができる。3. 研究を進めていく上で重要な論文が検索でき、その内容が理解できる。4. 結果をまとめ、学会発表や論文を作成することができる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
研究成果報告書	50%

## その他

学生相談：随時

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する。・研究計画を立案する。・結果を検討する。・論文を作成する。	・講義・論文抄読・実験・データ収集・解析・学会発表準備・作成した論文の検討	藤井 航	・論文検索・抄読・資料作成・発表	

# 口腔科学研究(船原)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

## 授業の概要

臨床に従事する機会を持つ学生が、急性期患者や高齢者に対する口腔由来の有害事象の予防を目的とした口腔管理方法の検討を行うために、演習を通じ明確にした課題に対して研究計画を立案し、担当教員と協議しながら主体的に研究を行い、その結果を発表する。

## 学生の到達目標

急性期患者や高齢者に対する口腔管理方法について、科学的根拠に基づき自らの研究結果を示すことができる。

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
報告書	50%
プレゼンテーション	50%

## その他

学生相談時間：月曜～金曜の9時～17時を基本とし、随時受け付ける

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究内容に即した文献を収集・抄読する。</li><li>・研究計画の立案を行う</li><li>・研究遂行に必要な手技を学ぶ</li><li>・データ収集、または実験を行う</li><li>・収集した結果の分析・考察を行う</li><li>・報告書やプレゼンテーション、論文を作成する。</li><li>・発表をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・講義</li><li>・論文抄読</li><li>・計画立案</li><li>・データ収集</li><li>・実験</li><li>・作成した報告書および論文の検討</li></ul>	船原 まどか	<ul style="list-style-type: none"><li>・論文検索方法の事前学習</li><li>・指定論文の事前抄読</li><li>・実験手法の予習/復習</li></ul>	



# 口腔科学研究(泉)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1~2年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

## 授業の概要

口腔健康管理が全身の健康に与える影響について疫学的研究手法および統計学的手法を用いた研究の実践に関する指導を行う。

## 学生の到達目標

1. 先行研究論文をまとめることができる。
2. 仮説を立てることができる。
3. 研究計画書を作成することができる。
4. 疫学的調査研究ができる。
5. 調査データを統計学的手法を用いて解明することができる。
6. 研究内容を報告書にまとめることができる。
7. 研究内容をプレゼンテーションできる。

## テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

## 成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

## その他

学生相談：随時、メール

# 口腔科学研究(泉)

開講学科	口腔保健学専攻		開講年次	1~2年	開講期	後期	
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

## 授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先行研究論文をまとめる。</li> <li>・ 仮説を立てる。</li> <li>・ 研究計画書を作成する。</li> <li>・ 倫理審査申請書類を作成し承認を得る。</li> <li>・ 疫学的調査研究を実施する。</li> <li>・ 調査データを統計学的手法を用いて解明する。</li> <li>・ 研究内容を報告書にまとめる。</li> <li>・ 研究内容プレゼンテーション資料を作成する。</li> <li>・ プレゼンテーションする。</li> <li>・ 必要に応じて学会等で研究成果を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文抄読、</li> <li>・ 討論・研究討論・調査研究</li> </ul>	泉 繭依	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文検索、抄読</li> <li>・ 研究計画書、倫理申請書作成</li> <li>・ 研究報告</li> </ul>	その他 Moodle Microsoft Teams